

### 第3号議案（2023年度理事会決議報告）

#### （イ）2024年度 事業計画及び収支予算について

#### I. 2024年度事業計画

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

定款第5条の事業目的達成のために努力すると共に下記の事業の推進に努める。

#### 1. 開催事業

##### イ) エランドール賞の開催（開催事業）

24年2月に開催されたエランドール賞受書式は、会員各位、関係者のご協力により、成功裡に行われた。メディアの報道も大きく、当協会の存在意義をアピールすることが出来た。申すまでもなく、エランドール賞は歴史と伝統を誇り、協会の最重要事業である。本年度も、式典の充実を図りたい。

コロナ禍以前に行っていた新春パーティーと、一般客の入場については、引き続き検討課題だが、会場問題と合わせ諸般の状況を勘案し、早期に結論を出したい。

##### ロ) 国際ドラマフェスティバルへの参加・協力（支援事業）

受賞作の一次選考を全会員の投票で行う。

ローカルドラマ賞は、当協会が受賞作を内定、推薦をする。

大会運営についてもサポートをして、ドラマ作品の国際競争力の向上に努める。

##### ハ) プロデューサーズ・カフェの実施（研究調査事業）

芸術文化活動で顕著な活躍をした方々や、有識者を招き、講演、シンポジウムなどを行う。会員との意見交換が出来る企画を目指す。

23年度は、見送りとなったが今年度は対面、オンラインのいずれかの形式で開催する。

##### ニ) アクターズセミナーの実施（育成事業）

俳優発掘のためのワークショップ。

各社、各局の監督・演出家が、応募してきた新人俳優に対し、実践的な指導を行うとともに、将来性に富んだ俳優の発掘を目指す事業である。

コロナ禍で、中断していたが昨年4年ぶりに開催し好評だった。

昨年の募集人員は30名のところ100名近くの応募があり、今年も多くの参加希望者が見込まれる為増員も検討する。引き続き会員各位のご協力をお願いする。

受賞者の表彰は、エランドール賞授賞式の中で行う。

ホ) デジタル交流サイトの充実（研究調査・育成事業）

周年事業として、会員限定の交流サイトを立ち上げた。加入者数のさらなる増加とともに、交流サイト内での活発なやりとりを図りたい。会員間の人的交流を盛んにするために、情報交換や作品紹介など、会員各位に活用していただきたい。

2. 映像関連団体との連携

イ) 現場（映画・テレビ業界）の作業環境とハラスメント防止対策を旨とした映画制作適正化機構に賛助会員として連携する。

3. 支援活動

イ) 日本アカデミー賞、毎日映画コンクールなど、各種映像関連事業に引き続き、委員を派遣し積極的な支援を行う。

ロ) 国際Dシネマ映画祭（SKIP シティ）、全国フィルムコミッションの活動を支援し、映像文化の発展に努める。

4. 組織強化活動

イ) 会員数は、各位のご努力があり漸減傾向に歯止めがかかったが、構成比では功労会員、特別功労会員が増加している。

持続可能型組織である為には、若手・中堅世代のさらなる会員増を図りたい。

若手・中堅会員の参加意欲を高める為にも、登録した会員同士が自由に交流できるサイトを組織強化に繋げたい。

ロ) 在版・在名の放送局の東京支社やネットメディアの会員勧誘を行う。  
すでに一部の入会者があったが、さらに広げたい。

5. 親睦交流活動

イ) 会員の親睦を図るべく、春秋の親睦ゴルフ会を実施する。

6. 総務関連

イ) 事業収支の改善ならびに事務局業務の効率化を図る。

ロ) 会員交流サイトを梃に、協会事業の活性化を促す。

ハ) 会員の充足感を保証して、会員増を図る。

※今年度は、コロナ禍による活動自粛状態を漸く脱しつつあり、協会事業のさらなる活性化を目指したい。

第4号議案

その他